

おかげさまで10周年。KBS創研は、知識 [Knowledge] と行動 [Behavior] で問題解決 [Solution] を支援します。

二十四節気3月5日は啓蟄【けいちつ】です。大地が温まり冬眠をしていた虫が穴から出てくるところと言われています。旅行会社の皆様とお話をしている、いよいよ春の旅行の問い合わせも増え始めていると聞きます。株式市場も少し上向きかけてきた事ですし、観光業界も負けずと盛り上がっていききたいですね！

株式会社 KBS 創研 営業支援部 竹腰 幸司



特集 KBS 秋の研修旅行 金沢の旅 (後編)

今月のTogetherは、先月に引き続き、昨年の秋のKBS研修旅行 in 金沢(後編)として、1泊2日の旅の行程をご紹介します。尚、先月号のTogetherでは、KBS研修旅行 in 金沢(前編)として、株式会社見城亭の馬場社長(協同組合兼六園観光協会 理事長)に、金沢の観光動向についてお話を伺った様子を特集しておりますので、そちらもあわせてご覧ください。【詳しくはTogether2013年2月号】

金沢の観光を知る

金沢の観光と言えば何を思い浮かべるでしょうか？ まずは金沢の観光を知る上で重要なキーワードをおさらいしてみたいと思います。

- 加賀100万石、前田家の城下町として栄えた歴史的な街並み(金沢城、兼六園、ひがし茶屋街など)
- 歴史を背景にした、数々の伝統文化、伝統工芸(金箔、加賀友禅、和傘など)
- 近年は現代アートにも力を入れている(金沢21世紀美術館など)
- 郷土料理、地酒、和菓子などの食文化(加能ガニ、加賀野菜、じぶ煮など)

これらのキーワードを元に、今回の1泊2日の旅を振り返ってみたいと思いますが、紙面の都合上、すべてをご紹介する事ができませんので、特に印象に残った部分をピックアップしてお送り致します。

●兼六園ガイドと園内散策



金沢を代表する観光スポット『兼六園』

金沢駅に到着後、昼食と近江町市場の見学を終えて、私達は金沢を代表する観光スポット『兼六園』へ向かいました。今回の園内散策では、お茶屋『兼見御亭』よりガイドさんが付いてご案内して下さいました。マイペースにゆっくり散策も良いですが、ガイドさんの解説を聞くことで、園内の植物の生態、庭園の設計構造、歴史の言い伝え、園内のメンテナンス方法などを知ることができ、より理解を深める事ができます。物見遊山的な観光ではなく、このように地元の人の話を聞きながらの学習型観光も着地型観光の一つのトレンドとなっています。

金沢駅に到着後、昼食と近江町市場の見学を終えて、私達は金沢を代表する観光スポット『兼六園』へ向かいました。今回の園内散策では、お茶屋『兼見御亭』よりガイドさんが付いてご案内して下さいました。マイペースにゆっくり散策も良いですが、ガイドさんの解説を聞くことで、園内の植物の生態、庭園の設計構造、歴史の言い伝え、園内のメンテナンス方法などを知ることができ、より理解を深める事ができます。物見遊山的な観光ではなく、このように地元の人の話を聞きながらの学習型観光も着地型観光の一つのトレンドとなっています。

●ひがし茶屋街にて伝統の「お茶屋遊び」を体験



お茶屋『懐華樓』。金沢のお茶屋文化を現代に伝えています

兼六園の見学を終えて、私達はひがし茶屋街にあるお茶屋『懐華樓』へ向かいました。『懐華樓』はひがし茶屋街の中ほどにあるお茶屋で、昼は一般に内部を公開していますが、夜は伝統的な「一見さんお断り」のルールに基づいて営業されています。ただ、紹介がなければ全く入れないという訳ではなく、伝統的なお茶屋文化を多くの方に楽しんで頂き、金沢のお茶屋文化を大切にしていきたいという女将の思いから、一般の人でも参加できる『艶遊会』というイベントが定期的に行われています。

兼六園の見学を終えて、私達はひがし茶屋街にあるお茶屋『懐華樓』へ向かいました。『懐華樓』はひがし茶屋街の中ほどにあるお茶屋で、昼は一般に内部を公開していますが、夜は伝統的な「一見さんお断り」のルールに基づいて営業されています。ただ、紹介がなければ全く入れないという訳ではなく、伝統的なお茶屋文化を多くの方に楽しんで頂き、金沢のお茶屋文化を大切にしていきたいという女将の思いから、一般の人でも参加できる『艶遊会』というイベントが定期的に行われています。

今回、私達はこの『艶遊会』に参加し、はじめてのお茶屋遊びを体験する事ができました。並べられた御膳は、料理マイスターの称号を持ち、現代の名工を受賞された兼見御亭グループ総料理長 榎本桂次氏による和会席料理。3人の金沢芸者さんが歌や踊りを披露し、そしてクライマックスには芸者さんと一緒に座敷太鼓を叩き、文字通り「どんちゃん騒ぎ」を行う本格的なものでした。

●現代アートと、フレンチレストランを堪能！モダン金沢！



『金沢21世紀美術館』にて、『スイミング・プール』にて。人気のレアンドロ・エルリッヒの

2日目は、ホテルにて社内会議を終えた後に、『金沢21世紀美術館』へ。広い芝生に建つ円形のガラス張りのお洒落な外観で、無料ゾーンにも多数のモダンアートが展示されており、市民の皆さんも気軽に散歩に訪れている印象でした。有名な恒久展示作品、レアンドロ・エルリッヒの『スイミング・プール』は、やはり人気があり、多くの人で賑わっていました。歴史や文化だけではなく、金沢ではこうした現代アートによる街づくりにも力を入れています。また、現代アートによる観光活性化は全国的にもトレンドとなりつつあります。（2013 香川県高松市の『瀬戸内国際芸術祭』など）



『しいのき迎賓館（旧県庁跡地）』にあるレストラン『ジャルダン ポール・ボキューズ』

昼食は、「しいのき迎賓館（旧県庁跡地）」にあるレストラン『ジャルダン ポール・ボキューズ』へ。フレンチの巨匠、ポール・ボキューズ氏の名を冠する本格フレンチレストランで、大正時代の格調高い姿の建物をそのまま利用し、旧知事室に作られたダイニングで食事をする事ができます。全国的にも、このような大正時代の重厚な建築をリノベーションして活用する動きが多く見られますが、こちらのレストランでは、兼六園の雪吊りをイメージしたシャンデリアを取り入れるなど、伝統とモダンが融合合うハイセンスな作りとなっていました。もちろん料理も絶品でした！

●最後は伝統工芸、金箔貼りを体験！



金沢の伝統工芸「金箔張り」を体験

1泊2日、旅の最後の行程は金沢の伝統工芸「金箔張り」を体験しました。金箔の生産、小物の販売を行う『箔一』では、箱やお盆などの金箔をあしらったオリジナル小物作りを体験する事ができます。まずはデザインを決めて、金箔を貼りたくない場所にマスキングテープを張り、その上から金箔を貼って、テープを剥がしていくという単純作業ですが、金箔は約0.0001ミリメートルと非常に薄く、思ったように貼ることができません。金箔職人の凄さを、身をもって体験する事ができました。

金沢市の金箔は、日本の総生産量のうち99%を占めているそうです。こうしたご当地の伝統文化体験も近年はすっかり定着してきましたが、やはり少し時間を有する事が多いため、初回の訪問者というよりも、2回、3回と訪れている旅の上級者やリピーターの観光客ほど相性が良いと言えます。

●研修を終えて

あつという間の1泊2日間。先月号にて「日帰りで満足してしまう街なのか、わざわざ泊まりたい街なのか」というお話がありましたが、今回私達が体験した金沢は、間違いなく泊まりたい街でした。それは夜や朝の魅力という単純な意味ではなく、多くの見どころがあり1日では見足りないばかりか、初心者ではまだまだ踏み込めない、上級者しか知り得ない深みを想像させられるもので、何度も訪れてこそ、その深みを楽しむ事ができる街なのだと感じられた事です。



編集
後記

見どころたっぷり。何度でも訪れたいまち、金沢。今回のレポートは、記事を読み、写真を見るだけでも旅行の楽しさが伝わってきますね。歴史と、文化と、食べ物と。日本の良さが凝縮された代表的な観光地だけに、その取り組みには常に注目！ それにしても、お茶屋さんの「どんちゃん騒ぎ」には行ってみたいものです。（増田）

株式会社 KBS 創研

本社・西日本営業部：〒661-0003 兵庫県尼崎市富松町1-9-15-103 TEL:06-6423-5561/ FAX:06-6423-5571
東日本営業部：〒103-8246 東京都中央区日本橋2-6-5 日本橋2丁目ビル6階 TEL:03-3246-1314/ FAX:047-426-0913
<関連会社>ネクストサポート株式会社（事業再生コンサルティング）
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-6-20 マスイビル6階 TEL:06-6282-7226/ FAX:06-4707-3855
特定非営利活動法人 ふるさと応援隊（着地型観光支援事業）
〒604-0044 京都市中京区小川通押小路下下古城町376-205 TEL:075-708-5741/FAX:075-708-5741

●代表取締役：小泉寿宏
●事業内容：観光・サービス業の経営支援
●設立：2004年4月
●地域オフィス：関西・東京